

# Toyo Channel

## 言葉を越えて、深まる探究。異文化とつながる10日間

カナダ・バンクーバー(希望者)  
2026年8月4日～14日



2026年8月4日からの10日間、希望者17名がカナダ・バンクーバーでの語学研修を行いました。「英語で伝える力」「自ら問いを探る力」「文化の違いを認め合う心」を育むことが、この研修の目標です。現地では語学学校での学びだけでなく、現地高校生や世界中の留学生との交流、ホストファミリーとの生活など、毎日が新しい出会いの連続でした。言葉がうまく通じなかったり、生活文化の違いに驚いたりしたこともありましたが、自分から笑顔で話しかけ、たくましく乗り越えていきました。「英語で思いが伝わった!」という体験と成長がつまった、10日間をお知らせします。



### いざ!バンクーバー!

日本時間8月4日(火)21:55、羽田空港を無事出発した一行は、翌15:30、バンクーバー空港に無事到着しました。9時間近いフライトでした。今回のホームステイ先はサレー地方。到着後、生徒たちはホストファミリーに迎えられ、各家庭へと帰宅しました。語学学校にはバスと電車で移動します。引率教員もホームステイです!時差ばけが心配です……。



▲ホストファミリーと

### 現地での交流

事前に質問内容を考え、カナダの同世代の学校生活や文化について活発な意見交換を行いました。海外の生活や文化を知ること、日本について見えてくることが多くありました。日本で自分が「普通」だと思っていたことが実は海外では「普通」ではなかったり。新しい発見です!



▲現地高校生との意見交換

### アクティビティ



▲川遊びを満喫

公共交通機関を乗り継いでリンキャンオンでハイキングをしました。気候は28度で乾燥もしていましたので、川遊びがかなり楽しかったようです。浅瀬でとても綺麗でした。語学学校の先生がはしゃぐ彼らを見て「6歳と変わらないくらい楽しんでいる16歳」と微笑んでいました。



▲留学生との交流も

カナダに留学しているチリ、メキシコ、台湾等の留学生とも交流しました。生徒全員が何らかの質問を考えて話すというタスクもありました。休み時間には日本から持参したお菓子を食べ、サッカーの話題など大いに盛り上がりました。

### 学校での様子

単なる座学にとどまらず、ショッピングの練習や道案内の表現、服の複数形を実際に着て体験するなど、工夫を凝らした授業が行われました。特に日本人特有の「sh/th」「r/l」等の発音指導では苦戦しながらも意欲的に習得を目指しました。



▲授業ではお金の数え方も

観光地の一つでもあるグランビルアイランドにはバスを乗り継いで行きました。工場や造船の歴史を学ぶとともに、宝探しの要素を含んだアクティビティで楽しみました。午後は希望生徒と引率教員でスタンレーパーク自転車旅です。自転車をレンタルし、周回11kmもあるスタンレーパークを走りました。天候も良かったのでノースバンクーバーの景色がとても綺麗でした。イングリッシュベイやビーチは土曜日ということもあってかなり混み合っており、カナダの人は休日を謳歌しているんだなあ、と生徒はしみじみ感じていました。



▲グランビルアイランドにて



▲オフの日を満喫



▲自転車旅



▲神経衰弱でどれを選ぶか案案中

最終日には生徒たちで用意した寄せ書きを担当の先生に手渡しして、記念撮影をしました。短期間ながら密度の濃い日々に残り惜しさを感じつつも、思い出に残る修了式となりました。



▲みんなで寄せ書き